



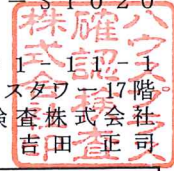
HOUSE PLUS

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
令和元年11月5日

## 接合部性能試験成績証

受付日：令和元年8月30日  
受付番号：HP19-ST020

東京都港区海岸1-11-1  
ニューピア竹芝ノースタワー17階  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 吉田 正司



1. 接合金物名称	中大規模対応筋かい<ストロング>
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた床合板付きたすき掛け筋かい壁の短期基準せん断耐力を実験により求める。
4. 試験内容	筋かい断面寸法90mm×90mm、30mm厚床合板付きたすき掛け筋かい壁の面内せん断試験(柱脚固定式) なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定の「木造の耐力壁及びその倍率性能試験・評価業務方法書」に準拠した無載荷式(正負交番繰返載荷試験)による。
5. 試験体仕様	<p>1) 試験体の寸法 横架材間の内法寸法:2,850mm 柱間隔(芯々間):910mm</p> <p>2) 接合金物 「中大規模対応筋かい&lt;ストロング&gt;」1個×4箇所 材 質: SGHC(JIS G 3302)*1 寸 法: (外形)48.2mm×100mm×130mm 板厚t=3.2mm 留付け用孔 柱側8-φ5.9mm,筋かい側18-φ5.9mm 表面処理: Z27 「筋かい交点補強金物」1枚 材 質: SGH400(JIS G 3302)*2 寸 法: (外形)70mm×400mm 板厚t=4.5mm 留付け用孔 18-φ6mm 表面処理: Z27</p> <p>3) 接合具 柱側: 「木ねじ TB-76」8本×4箇所 材 質: 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.15~0.23%, Mn:0.60~1.00%, P:0.030%以下, S:0.050%以下 寸 法: 頭部径φ9.3mm 首下径φ5.35mm ねじ山径φ5.3mm ねじ谷径φ3.9mm P=3.18mm L=75mm 表面処理: エコート*3WH処理 筋かい側: 「木ねじ TBA-45」10本×4箇所 材 質: 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.15~0.23%, Mn:0.60~1.00%, P:0.030%以下, S:0.050%以下 寸 法: 頭部径φ9.3mm 首下径φ5.7mm ねじ山径φ5.3mm ねじ谷径φ3.8mm P=3.18mm L=43mm 表面処理: エコート*3WH処理 筋かい交点: 「木ねじ TB-76」18本 材 質: 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.15~0.23%, Mn:0.60~1.00%, P:0.030%以下, S:0.050%以下 寸 法: 頭部径φ9.3mm 首下径φ5.35mm ねじ山径φ5.3mm ねじ谷径φ3.9mm P=3.18mm L=75mm 表面処理: エコート*3WH処理</p> <p>4) 軸組材料 梁: 120mm×180mm JAS構造用製材ベイマツ E110以上 含水率:15.5~16.0% 全乾密度:0.42~0.43g/cm<sup>3</sup> 土台: 120mm×120mm 構造用製材ヒノキ 含水率:11.5~12.0% 全乾密度:0.44~0.49g/cm<sup>3</sup> 柱: 120mm×120mm×2,850mm JAS同一等級構成構造用集成材スギ E65-F255 2本 含水率:10.5~14.0% 全乾密度:0.37~0.42g/cm<sup>3</sup></p> <p>5) その他 筋かい: 90mm×90mm 構造用製材スギ 2本 含水率:9.0~17.5% 全乾密度:0.36~0.42g/cm<sup>3</sup> 床合板: 厚さ30mm JAS構造用合板 特類2級 含水率:9.5~10.0% 全乾密度:0.52~0.54g/cm<sup>3</sup></p> <p>*1 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.15%以下 Mn:0.80%以下 P:0.100%以下 S:0.050%以下 *2 降伏点295N/mm<sup>2</sup>以上 引張強さ400N/mm<sup>2</sup>以上の炭素鋼 *3 エコートは、NOFメタルコーティングス株式会社の商標登録</p>
6. 試験条件等	接合金物は用途に合わせて柱に取り付け仕様としている。 筋かい材交点は相欠き加工の上、補強金物で留め付けた。 柱頭側筋かい端部は梁に、柱脚側筋かい端部は床合板に突き付け仕様としている。試験体の柱頭及び柱脚の接合は、引き寄せ金物高耐力ホールダウンHiを用いた。
7. 試験結果	壁長さ1mあたりの短期基準せん断耐力 P <sub>0</sub> 12.08 kN/m (Pu×(0.2/Ds)) (詳細は接合部性能試験報告書HP19-ST020に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター:神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	令和元年9月18日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 上杉 義則 千葉 博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。